

関東地方		取引先からの勧めで宣言 無理なく実施できるレベルから始める 東京精工株式会社
宣言タイプ	★	
業種	製造業	
従業員規模	21～50名	
業務のIT依存度	4	

きっかけ

取引先である株式会社山田製作所からSECURITY ACTION制度を紹介され、自社でも無理なく実施できるセキュリティ対策であるため、宣言することを決めた。

効果

- 株式会社山田製作所では取引先企業の経営品質の評価にあたり、セキュリティ対策状況についても重視しており、SECURITY ACTIONに基づくセキュリティ対策の取り組みが同社から評価された。
- 独自のセキュリティハンドブックを作成し、「情報セキュリティ5か条」に取り組んだことで、自社の親会社が内部統制を目的に実施するセキュリティ自己点検で、SECURITY ACTIONの取り組みを、高く評価された。

工夫

「情報セキュリティ5か条」を参照し、自社で最低限実施すべき対策や基準をハンドブックに整理した。まずは無理をせず、やれることからスタートすることが形骸化を防ぐためにも重要と判断。

■企業紹介

自動車産業を対象に、素材から完成部品まで手掛ける精密冷間鍛造の一貫加工メーカーとして、スピード感ある誠実な対応と高品質を強みに、信頼・安心と言う顧客満足を提供している。

実施者のコメント

■継続のカギ

大企業である親会社の一部門としてISO認証（品質）を取得しているものの、当初は自社の実態に即した仕組みになっているとは言い難かった。その後、自社単独でISO認証（品質・環境）に対応するために、身の丈に合った内容でマニュアルを見直したことで、仕組みとして組織に根付くようになった。

この経験から、今回作成したハンドブックについても、自分たちの現状に合わせて作成することによって社員にルールが定着し、継続して実践することにつながると考えている。



■今後の課題

人員やスキルの観点から、自社でサーバを管理するのは負担が大きいため、費用はかかるがクラウドサービスの利用を検討したい。クラウドサービスを選定する際には、「中小企業のためのクラウドサービス安全利用の手引き」などを参考にしたい。

対策のポイント

チェック

1週間程度で、「情報セキュリティ5か条」に沿って、現時点でできていることと不十分なことを整理した。社員が最低限守るべきルールをハンドブックにまとめ、社長の承認を得て宣言を実施した。

宣言

宣言後

社員がハンドブックの内容をきちんと理解し、しっかり定着させることが重要課題。無理をせずに最低限から始めて、次のステップとして「二つ星」を目指す。